

The Duck Race 「アヒルのレース」

The Duck Race		アヒルのレース
PG 1	Wilma had an idea.	ウィルマはいいことを思いつきました。
PG 2-3	The children made six ducks. “Let’s have a duck race,” said Wilma.	子ども達は六羽のアヒルを作りました。 「アヒルのレースをしよう」とウィルマが言いました。
PG 4-5	Mum began the race. “Drop the ducks in,” said Mum.	ママがスタートの合図をしました。 「アヒルを落として」とママが言いました。
PG 6-7	The ducks went down the stream. Oh no! Wilma’s duck sank.	アヒル達は小川を流れて行きました。 あらまあ！ ウィルマのアヒルは沈んでしまいました。
PG 8-9	Chip’s duck got stuck in the reeds. Biff’s duck got stuck in the weeds.	チップのアヒルはアシの中で動かなくなりました。 ビフのアヒルは草むらで動かなくなりました。
PG 10-11	Wilf’s duck got stuck on a log. “Get it off with a stick,” said Chip.	ウィルフのアヒルは丸太の上で動かなくなりました。 「棒で取って」とチップが言いました。
PG 12-13	Kipper’s duck went fast. It went past Dad’s duck.	キッパーのアヒルは早く進みました。 パパのアヒルの横を通り過ぎて行きました。
PG 14-15	Two swans flew down. They landed on the ducks!	二羽の白鳥が飛び降りて来ました。 アヒル達の上に降りて来たのです！
PG 16	“Six soggy ducks,” said Kipper.	「六羽のびしょぬれアヒルさん」とキッパーが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Kipper たちがどこで何をしているのか考えます。タイトルを読み、川に浮かんでいるのが ducks であることがわかりますが、ほんものでしょうか？ 何羽いますか。
- 2) 1 ページの絵を見て、Kipper たちが、何の工作をしているのか考えます。表紙を再度見せても良いでしょう。誰の家にいるのか、家の中のどの部屋にいるのか、テーブルに広げられている文房具を英語で言えるか、子どもの英語を引き出し

ましょう。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。

- 3) Wilma had an idea. はレベル2の The Big Egg で印象深いセンテンスです。The Big Egg を見せて、ストーリーを思い出し、Wilma がこれからどうしようとしているのか推測させましょう
- 4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進みます。duck, stick, stuck の最後の ck の音が共通です。reed, weed, stream は長母音の[i:]。母音の種類が多いので、それぞれをきちんと発音して聞かせるようにしましょう。Wilma's duck sank. の sank、Chip's duck got stuck. の got stuck などは、驚き、悔しさを込めて読んでください。13 ページまで読み進んだら、14 ページを見せる前に、最後にどんなことが起きるか、推測させましょう。
- 5) ボール紙で ducks を作り、割り箸に留めます。2 枚の絵で割り箸をはさむように作り、裏表が使えるようにしましょう。大きな布(風呂敷でも良い)を川に見立て、絵本の読みに合わせて ducks を動かして The Duck Race 全体を act out します。子どもの人数や時間の余裕によっては、reeds, weeds, log も作ると良いでしょう。

Sniff 「スニフ」

Sniff	スニフ
PG 1 “Will you look after Sniff today?” said Mrs May.	「今日スニフの世話をしてくれませんか？」 とメイ先生が言いました。
PG 2-3 Wilf and Wilma were happy. They wanted to look after the puppy.	ウィルフとウィルマは喜びました。 彼らはその子犬の世話がしたかったの です。
PG 4-5 They took Sniff to the park. The puppy was excited.	彼らはスニフを公園に連れて行きました。 子犬のスニフは興奮していました。
PG 6-7 Sniff liked to roll on her back... jump up for a stick... run after a ball... and bark at a cat.	スニフはあお向けに転がったり、 棒めがけて飛び上がったり、 ボールを追いかけたり、 ネコに向かって吠えたりするのが好きで した。

	Then Sniff went in the mud.	それからスニフは泥の中に入って行きました。
PG	She ran after a duck.	アヒルを追いかけました。
8-9	She jumped in the pond, and she barked at a dog.	池に飛び込みました。 そして犬に向かって吠えました。
PG	“I am hot,” said Wilf. “I want a rest.”	「暑いよ」とウィルフが言いました。 「ひと休みしたいな」
10-11	“I am hot, too,” said Wilma. “I want a drink.”	「私も暑いわ」とウィルマが言いました。 「飲み物が欲しいな」。
PG	Mum couldn't find Sniff.	ママはスニフを見つけられませんでした。
12-13	She couldn't find Wilf and Wilma	ママはウィルフとウィルマも見つけられませんでした。
PG	Mum and Dad looked and looked.	ママとパパは探しに探しました。
14-15	“They must be lost” said Mum.	「みんな迷子になったに違いないわ」とママは言いました。
PG	They were fast asleep.	彼らはぐっすり眠っていました。
16	“They are worn out,” said Dad.	「疲れ切ったんだね」とパパが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Wilf と Wilma がどこで何をしているのか考えます。タイトルを読み、Sniff が犬の名前であることを教えます。鼻をくんくんする真似をしてみせ、犬の名前の意味を教えます。犬を飼っている子どもがいたら、名前を聞きます。
- 2) 1 ページの絵を見て、何が起きているか考えます。Mrs May は子どもたちの学校の先生であること、手に車のキーを持っているので、近所に住んでいるのではなさそうですね。Wilma's Dad は、たくさんのもを手に持っています。これも Mrs May が持ってきたのでしょうか？大きな緑色のものは、Sniff のベッドですね。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。
- 3) today と May で、ay を [ei] と読むルールがわかります。
- 4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進みます。happy と puppy の最後の y が同じ音、back と cat、mud と duck、pond と dog のように、同じページに登場する同じ母音に気づかせましょう。Sniff がすることの動詞は、意味を表すように絵を指さしたり、身振り手振りをしながら読みましょう。

絵本を閉じて、Sniff がしたことを思い出します。子どもが日本語で言ったら、英語で言って聞かせ、ボードに書き出します。絵本の 6 ページから 8 ページを再度読み、

ボードに書き出した英語をチェックしましょう。Who wants to be Sniff?と聞き、希望する子供が Sniff になります。6 ページから 8 ページまでをゆっくり読み、Sniff になった子供が act out します。小道具として、棒、ボール、猫、鳥、犬のぬいぐるみを用意すると、いっそう楽しくできます。

Pond Dipping 「池すくい」

Pond Dipping	池すくい
PG 1 Wilf and Wilma were at the pond.	ウィルフとウィルマは池にいました。
PG The net got stuck.	網が引っかかりました。
2-3 “Help me pull,” said Wilf.	「引っ張るのを手伝って」とウィルフが言いました。
PG They pulled the net.	彼らは網を引っ張りました。
4-5 It was stuck on some junk.	網は何かゴミに引っかかっていたいました。
PG Wilma got a big stick.	ウィルマは大きな棒を持ってきました。
6-7 “Let’s pull it out,” she said.	「引きあげよう」と彼女は言いました。
PG Wilf and Wilma pulled.	ウィルフとウィルマは引っぱりました。
8-9 They couldn’t pull the junk out.	ゴミを引き上げることは出来ませんでした。
PG Mum and Dad helped.	ママとパパも手伝いました。
10-11 They pulled out an old pram.	みんなで古い乳母車を引き上げました。
PG Plop! A frog hopped out.	ポチャン！一匹のカエルが飛び出しました。
12-13 It made Wilf jump.	ウィルフはびっくりして飛びあがりました。
PG Splash! A fish jumped up.	ピチャン！魚が飛びあがりました。
14-15 “A pram full of fish,” said Dad.	「魚でいっぱい乳母車だね」とパパが言いました。
PG 16 “Pram dipping!” said Wilma.	「乳母車すくいよ！」とウィルマが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Wilf と Wilma がどこで何をしているか話し合います。タイトルを読み、意味を教えます。池を知らない子どももいるかもしれません。川と違って水の流れは無いけれど、いろいろな生き物が住んでいることを教えます。
- 2) 1 ページを見せ、家族 4 人がどこで何をしているか話し合います。Sniff が飛び込んだ pond だということに気づくでしょうか。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。were は頻度の高い sight word です。英文を読んで聞かせます。
- 3) pulled, helped, hopped, jumped の過去形の ed の発音に気をつけて読んで聞かせましょう。out, up の意味を身振り手振りで示しながら読みます。Plop! Splash! は日本語でどのように言ったらよいか子どもに考えさせましょう。
- 4) このストーリーは新出単語の net, pram, junk, full などが、絵を見れば意味が分かるようになっていました。2 ページ以降も、必ず絵について話し合ってから、2) の方法で読み進みます。
- 5) 希望する子どもに Mum, Dad, Wilf, Wilma の役を割り当て、絵本を全体を act out します。大きい箱を pram に見立て、魚、おたまじゃくし、カエルなど(あればプラスティックのおもちゃ)を紙で作って入れます。マグネットを利用して Pram Dipping ゲームをしても良いでしょう。(魚やカエルにクリップを留めます。鉛筆の先にマグネットを糸でつるして、pram の中の生き物を捕ります。)

The Ice Rink 「スケートリンク」

The Ice Rink		スケートリンク
PG 1	Wilf and Dad went to the ice rink. They put skates on.	ウィルフはパパとスケートリンクに行きました。 ふたりはスケート靴を履きました。 ふたりは氷の上に行きました。
PG 2-3	They went on to the ice. “Hold my hand,” said Dad.	「僕の手につかまって」とパパが言いました。 た。
PG 4-5	Wilf held Dad’s hand. “This is fun,” said Wilf.	ウィルフはパパの手につかまりました。 「これ楽しい」とウィルフが言いました。
PG 6-7	Wilf let go of his Dad’s hand He began to skate.	ウィルフはパパの手を離しました。 ひとりで滑り始めました。

PG 8-9	Whoops! Wilf sat down with a bump. “This ice is cold,” said Wilf.	おっと！ウィルフはしりもちをつきました。 「この氷は冷たいね」とウィルフが言いました。
PG 10-11	Dad began to skate. He went round the rink.	パパは滑り始めました。 彼はリンクを回りました。
PG 12-13	“Look at me spin!” said Dad. “Look at me jump!”	「僕のスピンを見て！」とパパが言いました。 「僕のジャンプを見て！」
PG 14-15	Dad got some cold drinks. “Look out, Dad,” said Wilf.	パパは冷たい飲み物を買ってきました。 「気をつけて、パパ」とウィルフが言いました。
PG 16	Oh no! A banana skin.	あ〜あ！ バナナの皮だ。

- 1) 表紙を見せ、Wilf と Dad がどこに行くところか話し合います。Wilf の前後の子どもたちがスケート靴を持っているのがヒントです。タイトルを読みます。スケートをしたことがあるか聞き、子どもたちの体験をひきだしましょう。
- 2) 1 ページを見せます。子どもたちは「服を着る」という英語の put on を知っているでしょうか？英語では、身につける動作はすべて put on です。英文を指さしながら読んで聞かせます。次のページはどんな場面が想像します。
- 3) ice, skate は、i-e は[ai] と、a-e は[ei]と、アルファベットの名前と同じ発音です。頻度の高い動詞の現在形と過去形がたくさん出てきます。went, held, began, sat, got, spin, jump はフォニックス基本ルールで読めますが、put, said は sight words として読めるようにしましょう。
- 4) 2 ページ以降は、見開きごとに、何が起きているか、Dad と Wilf が何を言っているか想像してから英文を読みます。アイスリンクの周囲で見物している人たちにも注目し、watching, eating, taking pictures, talking, sleeping など、子どもが知っている英語を引き出すことができます。4 ページには、学校の用務員さんがいるのがわかりますか？
- 5) TPR (Total Physical Response = 全身反応法)ゲームをします。

Put on your skates.

Go on the ice.

Hold Dad's hand.

Let go of Dad's hand.

Begin to skate.

Go round the rink.

Spin.

Jump.

Stop.

上記の commands(命令文)を言いながら、動作をして見せ、子どもも動作をします。子どもは英語を言う必要はありません。最初は順番に commands を言い、慣れたら順番を変えて言います。慣れたら、子どもが commands を言う役をします。

The Mud Bath 「泥んこお風呂」

The Mud Bath	泥んこお風呂
PG 1 Dad was playing football.	パパはサッカーをしていました。
PG He ran with the ball.	彼はボールを追って走りました。
2-3 “Go on Dad!” called Chip. “Kick it!”	「行け、パパ！」とチップが叫びました。「蹴って！」
PG Dad fell over in the mud. Splat!	パパはドロの中に倒れました。バチャ!
4-5 “Bad luck, Dad!” said Biff.	「運が悪かったね、パパ！」とビフが言いました。
PG “Oh Dad,” said Mum. “What a mess.”	「まあ、パパ」とママが言いました。「なんてありさま」
6-7 “I want a bath,” said Dad.	「お風呂に入りたい。」とパパが言いました。
PG Dad went up to the bathroom.	パパはお風呂場へ上がって行きました。
8-9 He ran a bath.	お風呂にお湯を入れました。
PG Dad came down.	パパは下に降りてきました。
10-11 There was football on TV.	テレビでサッカーをやっていました。
PG Dad looked at the football.	パパはサッカーを見ました。
12-13 “Go on!” he called. “Kick it!”	「行け！」と叫びました。「蹴るんだ！」
Dad forgot the bath.	パパはお風呂のことを忘れました。
PG Drip! Drop! Drip!	ポタ!ピタ!ポタ!
14-15 Plop! Plop! Splat!	ポチャン!ポチャン!パチャン!
“What was that?” said Dad.	「あれは何だろう?」とパパが言いました。
PG 16 Splash! “Oh no,” said Dad.	バッチャーン!「なんてこった」とパパが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Dad と Chip と Biff が何をしているか話し合います。サッカーボールが見えますから、すぐ分かりますね。イギリスではサッカーのことを football ということを教えましょう。タイトルを読みます。同じシリーズの Sniff の 8 ページに mud が出てきました。「泥のお風呂」って何のことでしょうね、と言って、ページをめくります。
- 2) 1 ページを見せます。サッカーをしていますね。英語で言えるかな？と聞き、子どもの英語を引き出してから英文を読みます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、ran, fell, mess。効果音の drip, drop, plop, splat も音の足し算で読んでみましょう。
- 4) 2 ページ以降は、見開きごとに場面について話し合い、英語で何が言えるか子どもの発言を促してから英文を読みます。せりふの部分は声色を変えて読みましょう。効果音の drip, drop, plop, splat は、読んだあと、日本語ならどんな音か、子どもと一緒に考えましょう。(ポタリポタリ、ザブザブ、ポチャンポチャン)
- 5) Family words を読んでみましょう。
まず、ball とボードまたは大きな紙に書きます。その下に子どもが既に知っている単語を書きます。

ball	call	fall
hall	tall	wall

単語を忘れていたら、ジェスチャーをして意味を思い出させるか、日本語を教えます。6 つの単語は、最初の子音が変わっているだけです。早読み競争をしても良いし、先生が動作をして、子どもが単語を言い、単語を指さすというアクティビティをしてもよいでしょう。

同様のアクティビティを次ぎの単語グループですることができます。

can	man	pan
ran	van	

The Steel Band 「スチールバンド」

The Steel Band		スチールバンド
PG 1	A band came to play.	バンドが演奏しにやってきました。
PG 2-3	“My name is Stan,” said a man. “I want you to help us.”	「私の名前はスタンです」と男は言いました。 「みんなに手伝ってもらいたい」
PG 4-5	“I want you to clap,” he said. “Clap your hands and tap your feet.”	「手を叩いてもらいたい」と彼が言いました。 「手を叩いて、足を鳴らしてもらいたい」。
PG 6-7	“I want you to sing a song.” “Sing it with us.”	「歌ってもらいたい」。 「私たちと一緒に歌ってもらいたい」。
PG 8-9	The children sang with the band. “Now clap as you sing,” said Stan.	子ども達はバンドと一緒に歌いました。 「さあ、歌いながら手をたたいて」とスタンが言いました。
PG 10-11	“Who wants to play in the band?” The children put up their hands.	「一緒に演奏してみたい人はいるかな？」 子ども達は手を挙げました。
PG 12-13	Everyone wanted to play. “You can all play,” said Stan.	みんな演奏してみたかったです。 「みんな演奏していいよ」とスタンが言いました。
PG 14-15	Wilf hit the drum. “Tap it,” said Stan. “Don’t bang it.”	ウィルフはドラムを叩きました。 「軽く叩いて」とスタンが言いました。 「ひっぱたいちゃダメだよ」。
PG 16	What a grand band!	なんてすばらしいバンドでしょう！

- 1) 表紙を見せ、Mrs May, Wilf, Biff が何をしているか話し合います。バンドのポスターを見えていますね。Mrs May がいるので、学校にバンドがくるのでしょうか？学校に、人形芝居や音楽演奏などが来たことがあるか聞き、子どもたちの体験を引き出しましょう。
- 2) 1 ページを見せます。バンドが学校に演奏にきたところですね。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉め、読んで聞かせます。
- 3) came, name は同じルールです。短母音[æ]を含む単語がたくさん出てきます。band, man, Stan, clap, hand, tap, sang, bang, grand です。にこっと笑ってあごをぐ

っと引き下げると[æ]の音が上手に言えます。先生は、大げさにこの口元を見せましょう。

- 4) 2 ページ以降は、見開きごとに場面について話し合います。a=[æ]を含む単語を見つけさせ、音の足し算をして単語を読んでみましょう。その後で、英文を読んで聞かせます。I want you to (動詞)…というパターンが繰り返されます。I で自分を指さし、want you で相手に両手を差し出し、to (動詞)で、動詞の意味をジェスチャーしながら読んで聞かせると良いでしょう。
- 5) この絵本ではセリフは Stan だけです。先生が Stan になって、I want you to (動詞)のパターンの英語を言って、TPR ゲームをします。stand up, sit down, pick up a pencil, open the door, など、教室での動作を、このゲームで復習しましょう。